

## 1934-1965

●：経営トップの動き ○：拠点の設立・稼働 ▶：M&A・アライアンス  
 ▷：組織改編 ◆：資金調達関連 ◇：その他

1934	1	○写真フィルム製造の国産工業化計画に基づき、大日本セルロイド(株)の写真フィルム部の事業一切を分離継承して、富士写真フィルム(株)創立(資本金300万円) 浅野修一 専務取締役社長に就任
	2	○足柄工場(現 神奈川工場 足柄サイト)の操業を開始し、写真フィルム、印画紙、乾板など写真感光材料の製造開始
1937	8	◆増資(新資本金1,000万円)
1938	6	○小田原工場(現 神奈川工場 小田原サイト)設立
1939	2	○小田原工場稼働開始
1943	11	◆増資(新資本金2,500万円)
	11	●春木榮 社長就任
1944	3	○榎本光学精機製作所の事業を継承し、富士写真光機(株)(現 フジノン(株))が発足
1946	4	○天然色写真(株)(1953年6月に富士天然色写真(株)に商号変更。フジカラーサービス(株)の前身)を設立
1948	10	◆増資(新資本金5,500万円)
1949	5	◇東京・大阪・名古屋の各証券取引所に株式を上場
	7	◆増資(新資本金1億2,000万円)
1950	2	◆増資(新資本金2億5,000万円)
1952	3	◆増資(新資本金5億円)
1953	11	◆増資(新資本金10億円)
1955	5	◆増資(新資本金20億円)
1956	12	◆増資(新資本金25億円)
1958	11	○米国・ニューヨーク事務所(現 FUJIFILM U.S.A., Inc.の前身)開設
1960	6	●春木榮 会長就任、小林節太郎 社長就任
	12	▶英国Rank Xerox Limited(現 Xerox Limited)と共同事業契約、技術援助契約を締結
1961	10	◆増資(新資本金50億円)
1962	2	○英国Rank Xerox Limited(現 Xerox Limited)との合併により、富士ゼロックス(株)設立
1963	10	○富士宮工場設立
1964	4	○富士宮工場稼働開始
	6	○ドイツ・デュッセルドルフ事務所(現 FUJIFILM Europe GmbHの前身)開設
1965	8	◆増資(新資本金100億円)
	1	○富士機器販売(株)(現 富士フィルムメディカル(株))設立
1965	4	▶富士天然色写真(株)を(株)フジカラーサービスに商号変更、ならびに富士天然色写真(株)の販売部門を分離し、フジカラー販売(株)を設立
	4	○中央研究所(埼玉県朝霞市)設立
	12	◇富士ゼロックス、フィリピンに進出し、東南アジアでの事業を開始
	12	○米国・ニューヨーク州に北米市場を統括するFuji Photo Film U.S.A., Inc.(現 FUJIFILM U.S.A., Inc.)を設立

# 1966-1996

●: 経営トップの動き ○: 拠点の設立・稼働 ▶: M&A・アライアンス  
 ▷: 組織改編 ◆: 資金調達関連 ◇: その他

1966	6	○ドイツ・デュッセルドルフに欧州市場を統括するFuji Photo Film (Europe) GmbH(現 FUJIFILM Europe GmbH)を設立
1968	9	○富士オーディオ(株)(富士フィルムアクシア(株)の前身)設立
1969	8	◇当社株式のADRがニューヨークでMorgan Guaranty Trust Companyにより発行
1970	12	◆欧州において、米ドル建転換社債1,500万ドルを発行
1971	6	●小林節太郎 会長就任、平田九州男 社長就任
	7	◆増資(新資本金109億8,125万円)
	10	◆増資(新資本金115億8,887万円)
1972	4	◆増資(新資本金121億8,905万円)
	10	◆増資(新資本金128億3,238万円)
	12	○吉田南工場設立
1973	4	◆増資(新資本金134億7,400万円)
1974	1	○吉田南工場稼働開始
1977	4	◆スイスフラン建転換社債1億スイスフラン発行
	10	◆増資(新資本金151億519万円)
1980	5	●平田九州男 会長就任、大西寛 社長就任
1981	7	○宮台技術開発センター設立
	12	◆増資(新資本金167億9,256万円)
1982	8	○オランダに欧州の主要生産法人Fuji Photo Film B.V.(現 FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.)を設立
1983	7	○Philip A. Hunt Chemical Corporationと合併で、富士ハントエレクトロニクステクノロジー(株)(1997年4月に富士フィルムオーリン(株)、2001年4月に富士フィルムアーチ(株)に商号変更。現 富士フィルムエレクトロニクスマテリアルズ(株))を設立
	7	◆第1回無担保転換社債300億円発行
	7	◆オランダでダッチギルダー建転換社債1億ダッチギルダーを発行
1984	8	○オランダのFuji Photo Film B.V.(現 FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.)稼働開始
1987	3	○ドイツに記録メディアの生産法人Fuji Magnetic GmbH(現 FUJIFILM Recording Media GmbH)を設立
1988	6	○ドイツのFuji Magnetic GmbH(現 FUJIFILM Recording Media GmbH)稼働開始
	7	○米国・サウスカロライナ州に米国の主要生産法人Fuji Photo Film, Inc.(現 FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc.)を設立
1989	1	○米エバレディー社と販売提携、富士フィルムバッテリー(株)を設立
1990	11	▶富士ゼロックス、英国Rank Xerox Limited(現 Xerox Limited)からオーストラリア・ニュージーランド・シンガポール・マレーシアの経営権を取得
1993	10	▶千代田メディカル(株)の発行済株式総数の51%を取得
1995	5	○富士ゼロックス、米国・カリフォルニアにFX Palo Alto Laboratory, Inc.を設立
	10	○中国・蘇州にFUJIFILM Imaging Systems (Suzhou) Co., Ltd.を設立
1996	6	○中国のFUJIFILM Imaging Systems (Suzhou) Co., Ltd.稼働開始

# 1996-2004

●: 経営トップの動き ○: 拠点の設立・稼働 ▶: M&A・アライアンス  
 ▷: 組織改編 ◆: 資金調達関連 ◇: その他

1996	6	●大西實 会長就任、宗雪雅幸 社長就任
	6	○香港にHong Kong Fuji Photo Logistics, Ltd.(現 FUJIFILM Hong Kong Limited)を設立
	1997	8
12		▶ドイツでEurocolor Photofinishing GmbH & Co. KGを買収
2000	6	●宗雪雅幸 副会長就任、古森重隆 社長就任
	10	○中国・河北省に、オフセット印刷用PS版生産工場を保有する中国印刷科学技術研究所との合併で、FUJIFILM STARLIGHT CO., LTD.を設立
	12	▶富士ゼロックス、中国での事業権を米国Xerox Corporationより買収。中国における事業展開開始
2001	3	▶富士ゼロックス(株)の発行株式総数の25%を追加取得。出資比率を75%として連結子会社化
	4	○中国・蘇州にデジタルカメラの生産・販売を行うFUJIFILM Digital Imaging Products (SUZHOU) Co., Ltd.を蘇州機械控股(集団)有限公司との合併で設立
	4	○中国における持株会社 Fuji Photo Film (China) Investment Co., Ltd.(現 FUJIFILM (China) Investment Co., Ltd.)を設立
	8	○液晶ディスプレイ用材料「フジタック」「WVフィルム」の生産会社、富士フィルムオプトマテリアルズ(株)を設立
	9	○オランダのFuji Photo Film B.V.(現 FUJIFILM Manufacturing Europe B.V.)で印刷用製版フィルム生産開始
	10	○米国に印刷機材販売会社Enovation Graphic Systems, Inc.(現 FUJIFILM Graphic Systems U.S.A., Inc.)を設立
2002	3	○中国のFUJIFILM STARLIGHT CO., LTD.でPS版の生産・販売開始
2003	2	▶富士ゼロックス、富士通(株)より基幹システム向け大型プリンター事業を譲受
	3	○米国のFuji Photo Film, Inc.(現 FUJIFILM Manufacturing U.S.A., Inc.)の工場拡張し、医療画像記録用フィルムの一貫生産開始。印刷用CTPプレート生産工場新設
2004	3	○富士フィルムオプトマテリアルズ(株)で液晶ディスプレイ用材料「フジタック」生産開始
	4	▶プロセス資材(株)(現 富士フィルムグラフィックシステムズ(株))の株式を追加取得し、連結子会社化
	4	▷富士フィルムと富士ゼロックスのグループ物流子会社を富士フィルムロジスティックス(株)に統合
	6	●古森重隆 代表取締役社長・CEOに就任、新経営体制を発足
	10	▷(株)フジカラーサービスとフジカラー販売(株)が合併し、フジカラーイメージングサービス(株)が発足
	1	▶富士ゼロックス、米国Dell Inc.とイメージング/プリンティング事業における技術パートナーシップを締結
	2	◇中期経営計画「VISION75」発表
	3	◇当社株式の売出しを実施
	4	▶オーストラリア及びニュージーランドの販売代理店であるHanimex Australasia Pty Ltd.(現 FUJIFILM Holdings Australasia Pty Ltd.)を買収
	4	▷富士フィルムメディカル(株)と千代田メディカル(株)が富士フィルムメディカル(株)を存続会社として合併
4	▷富士フィルムアクシア(株)と富士フィルムバッテリー(株)が富士フィルムアクシア(株)を存続会社として合併	
4	▷富士ゼロックス、カンパニー制を廃止し、事業本部制に移行	
4	▶石川島播磨重工業(株)の複写機能分担会社の事業を富士ゼロックスに営業譲渡	
5	▶富士フィルムメディカル(株)と東芝メディカルシステムズ(株)が、医用画像情報ネットワークシステムの分野における販売協力を合意し、業務提携契約締結	

## 2004-2006

●: 経営トップの動き ○: 拠点の設立・稼働 ▶: M&A・アライアンス  
 ▷: 組織改編 ◆: 資金調達関連 ◇: その他

2004	6	▶ 医療分野をメインとする画像処理技術の研究開発・製造販売を行う米国ベンチャー企業、TeraRecon, Inc.に出資	
	7	▶ 富士ゼロックス、商品情報データベース構築サービスの開発を行うeBASE(株)に出資	
	8	▶ シスメックス(株)と、中国におけるドライケミストリー方式の小型生化学検査装置「富士ドライケムシステム」販売に関する業務提携契約締結	
	9	○ 富士ゼロックス、デジタルプリント・イノベーション支援センター「epicenter」を東京・品川に設立	
	9	◇ 富士フィルムと富士ゼロックス共同で、ゼログラフィー方式のデジカメプリント出力システムを開発(セブン-イレブン店頭のマルチコピー機に採用)	
	9	◇ 1単元の株式数を1,000株から100株に変更	
	10	○ 富士フィルムイメージング(株)を設立。(株)フジカラーイメージングサービスと富士フィルムアクシア(株)を新会社に統合するとともに、写真関連大手4特約店より営業を譲り受け、イメージング関連製品の国内営業機能を一元化	
	11	▶ 米国Arch Chemicals, Inc.より、同社Microelectronic Materials部門と同社所有の富士フィルムアーチ(株)(現 富士フィルムエレクトロニクスマテリアルズ(株))の株式全数を買収	
	11	○ 富士ゼロックスの中国の生産拠点、Fuji Xerox of Shanghai Limitedの複写機/複合機生産ラインを拡張	
	2005	2	▶ スクリーン印刷・パッケージ印刷用インクや産業用インクジェット用インクのビジネスを展開するSericolグループの英国持株会社Sericol Group Limited(現 FUJIFILM Sericol Limited)を買収
		2	○ 液晶ディスプレイ用材料「フジタック」の生産会社、富士フィルム九州(株)を設立
2		◇ 自己株式の取得を実施(期間:2月1日から3月18日まで、取得株式総数:3,857,000株)	
3		▶ バイオ・ライフサイエンス分野の最先端技術の事業化を推進するための技術交流を目的とした国際クラブ「コスモス・アライアンス」に加盟、米国のベンチャー企業に出資	
4		▷ 富士フィルムの機器生産会社5社を統合し、富士フィルムテクノプロダクツ(株)を設立	
4		○ 中国・蘇州にPS版/CTP版の生産会社、FUJI PHOTO FILM PRINTING PLATE (SUZHOU) CO., LTD.(現 FUJIFILM Printing Plate (Suzhou) Co., Ltd.)を設立	
4		○ 中国・上海に印刷機器・材料販売会社、FUJIFILM STARLIGHT GRAPHIC SYSTEMS(SHANGHAI) CO., LTD.を設立	
5		○ 中国・蘇州に電子材料製造会社、FUJIFILM Electronic Materials (Suzhou) Co., Ltd.を設立	
6		▶ 液晶パネル用偏光板メーカー、(株)サンリッツの株式を追加取得し、出資比率を約30%に拡大	
9		○ シミック(株)と合併で、富士フィルム・シミック ヘルスケア(株)を設立	
10		▷ 足柄・小田原工場の組織を統合し、神奈川工場として再編	
10		▷ 富士ゼロックス、サービス事業拡大に向けて、直販営業と販売会社の国内営業体制を一新	
11	▶ 米国の半導体用CMPスラリーの開発・製造会社、Planar Solutions, LLC.の米国Arch Chemicals, Inc.の出資持分(持分比率50%)を取得		
12	○ 富士ゼロックスの乳化重合(EA)トナー生産会社、富士ゼロックスイメージングマテリアルズ(株)の新工場棟が稼働開始		
2006	1	▶ 三協化学(株)(現 富士フィルムファインケミカルズ(株))を完全子会社化	
	1	▶ 創薬系ベンチャーの(株)ペルセウスプロテオミクスに出資	
	2	▶ Avecia Inkjet Limitedを買収し、FUJIFILM Imaging Colorants Limitedに商号変更	
	3	▶ フランスの医療用機器販売会社TSR HOLDING S.A.と、医療用機器サービス・メンテナンス会社FUJI MEDICAL SYSTEMES FRANCE S.A.(現 FUJIFILM Medical Systems France SAS)を買収	
	4	◇ 中期経営計画「VISION75(2006)」発表	

# 2006-2008

●: 経営トップの動き ○: 拠点の設立・稼働 ▶: M&A・アライアンス  
 ▷: 組織改編 ◆: 資金調達関連 ◇: その他

2006	4	◇富士フィルム先進研究所設立
	4	○インド支店設立
	4	◆ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債発行(発行総額2,000億円)
	5	○中国のFUJIFILM Electronic Materials (Suzhou) Co., Ltd.稼働開始
	6	○富士ゼロックス、富士フィルムグラフィックシステムズ(株)と連携し、デジタルプリントビジネス改革のための高度な専門機能を提供する「Color Center」を設立
	7	▶産業用インクジェットプリンター用ヘッドメーカー、米国Dimatix, Inc.(現 FUJIFILM Dimatix, Inc.)を買収
	10	▷富士フィルムホールディングス(株)が、二大事業会社 富士フィルム(株)・富士ゼロックス(株)を傘下に束ねる持株会社体制に移行
	10	▶(株)第一ラジオアイソトープ研究所(現 富士フィルムRIファーマ(株))を買収
	10	○富士フィルム九州(株)の第1工場本格稼働
	10	▶フジノン(株)を完全子会社化
	10	▶オーストラリア・ニュージーランドの印刷システム事業の販売代理店、Graphic Systems Australasia Pty Ltd.の印刷製版機材の販売及び技術サポート関連事業を買収
	12	▶循環器部門向け医療画像情報システムメーカーである米国 Problem Solving Concepts, Inc.を買収
2007	2	◇富士フィルムホールディングス(株)、富士フィルム(株)、富士ゼロックス(株)の本社機能を東京ミッドタウンに移転
	3	○中国のFUJIFILM Printing Plate (Suzhou) Co., Ltd.が本格稼働
	3	▶フジノン(株)がイスラエルのGiven Imaging Ltd.と、カプセル内視鏡の販売・部品供給、及び次世代内視鏡システムの研究開発において戦略的提携契約を締結
	3	▶米国バイオベンチャー企業Cangen Biotechnologies, Inc.と抗がん剤DDS(ドラッグデリバリーシステム)の共同開発の契約締結
	4	▷富士ゼロックスが、100%出資子会社でオフィスプリンターの開発・販売を担当する富士ゼロックスプリンティングシステムズ(株)を統合
	4	◇株主還元の基本方針を見直し、株主還元性向((配当額+自己株式取得額)÷連結純利益)の目標を25%に設定
	5	▶住商情報システム(株)より内視鏡・超音波・病理の各部門システム事業を譲受
	5	○eサブライサービスを営業展開する富士ゼロックスインターフィールド(株)設立
	7	▷富士フィルムグループ共通の総務/人事関連業務を集約し、富士フィルムビジネスエキスパート(株)を設立
	7	○富士フィルム(株)とノーリツ鋼機(株)の合併で、フォトフィニッシング機器の両社のメンテナンス部門を統合したN&Fテクノサービス(株)を設立
	8	▶写真事業強化・国際競争力強化に向け、写真印画紙を中心とした写真分野において、三菱製紙との提携に合意
	8	○富士フィルム九州(株)の第2工場本格稼働
10	◇自己株式の取得を実施(期間:10月1日から10月15日まで、取得株式総数:2,700,000株)	
10	▷富士フィルムと富士ゼロックスの間接材の購買機能を、富士フィルムビジネスエキスパート(株)に集約	
11	◇自己株式の取得を実施(期間:11月12日から11月29日まで、取得株式総数:4,000,000株)	
12	▶(株)アドテックエンジニアリングと、デジタル露光装置の製造の一部、ならびに韓国におけるデジタル露光システムの販売・技術サービスについての協業を合意	
2008	1	▶ドイツのオンラインフォトサービスのシステム開発会社IP Labs GmbHを買収
	3	○インドに現地法人FUJIFILM India Private Limited設立

## 2008-2009

●：経営トップの動き ○：拠点の設立・稼働 ▶：M&A・アライアンス  
 ▷：組織改編 ◆：資金調達関連 ◇：その他

2008	3	▶ 富山化学工業(株)を株式公開買付により連結子会社化	
	4	○ 超広幅「フジタック」を生産する神奈川工場 足柄サイトの第4工場稼働	
	7	▶ 中国医療ITシステム会社、北京天健源達科技有限公司を子会社化	
	10	▷ 100%子会社であるフジノン(株)の内視鏡事業を統合	
	11	◇ 自己株式の取得を実施(期間:11月5日から12月17日まで、取得株式総数:15,780,000株)	
	11	▶ 放射線情報システムメーカーである米国Empiric Systems, LLCを買収	
	12	▶ 丸紅(株)よりロシアのメディカル及びイメージング製品の販売代理店であるZAO “FUJIFILM-RU”を買収	
	12	▶ 創業系バイオベンチャー、(株)ペルセウスプロテオミクスを子会社化	
	2009	2	▷ 100%子会社でイメージング事業の国内販売会社である富士フィルムイメージング(株)を統合
		3	▶ 内視鏡製品の国内販売会社であるフジノン東芝ESシステム(株)を完全子会社化